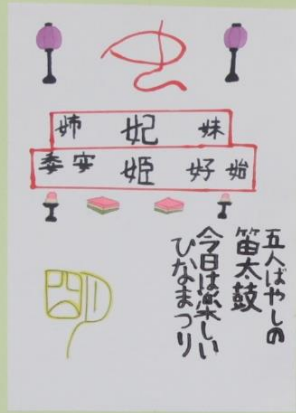


音



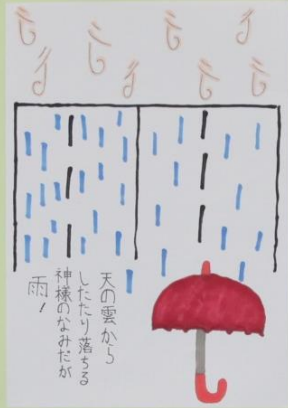
工夫した所は、音の文字が目立つように上の色を少し暗くした所です。

明



せがっている漢字も、ひなまつりの5人ばやし、よく考えられたことです。

雨



大きな雨の文字と、お色の色紙と文章がお気に入りです。

星



大の川に流れる星の文字をい、ぼい、書いた所が お気に入りです。

夜



ほたるの字が夜空を飛んでいるように工夫しました。

米



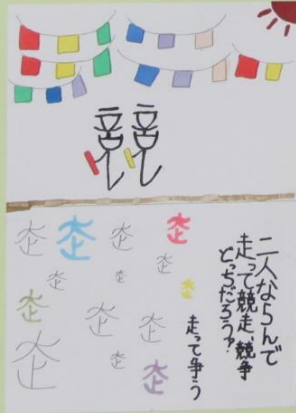
工夫した所は、いねの殻にも米の文字を入れたところです。

栗



お気に入り、くりの文字をまわりにち、ち、書いたことです。

競



工夫した所は、競の競文字に、ハサミを 持たせた所です。

示



工夫した所は、栗の丸の中に示りという 今の漢字を入れたことです。

氷



氷の文字を雪みたいにお色にした所が お気に入りです。

登



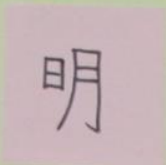
工夫した所は、おじいさんに登の字を 入れたことです。

愛

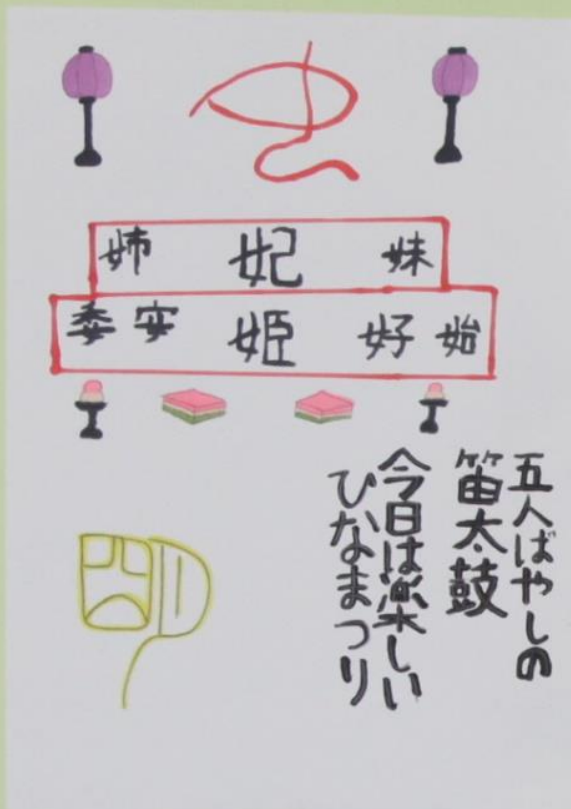


お気に入り、愛のあいの心を すみて書いたことです。

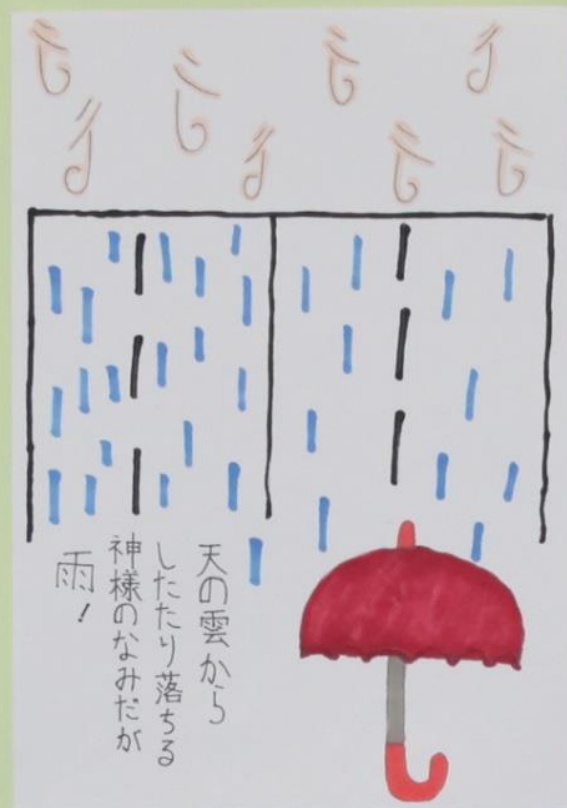
<左上>



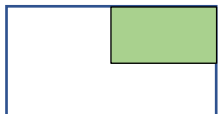
工夫した所は、春の文字が目出っように上の色を少し暗くした所です。



女がついている漢字を、ひなまつりの五人ばやし、ぼくはなすべたことです。



大きな雨の文字と、かさの色使と文章がお気に入りです。



星



天の川に流れる星の文字をいっぱい
書いた所が お気に入りです。

夜



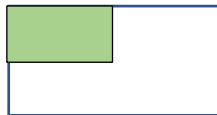
ほたるの字が夜空を飛んでいるように
工夫しました。

米

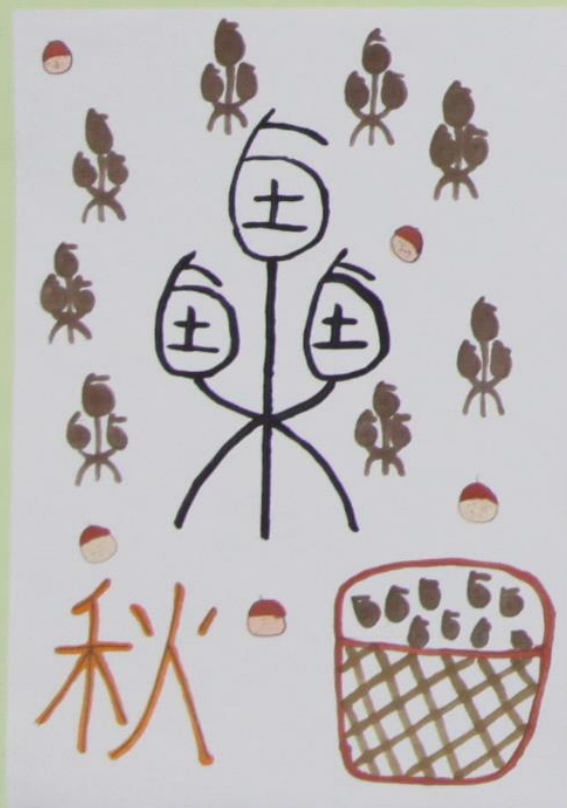


工夫した所は、いねの絵にも米の
文字を入れたところです。

<左下>

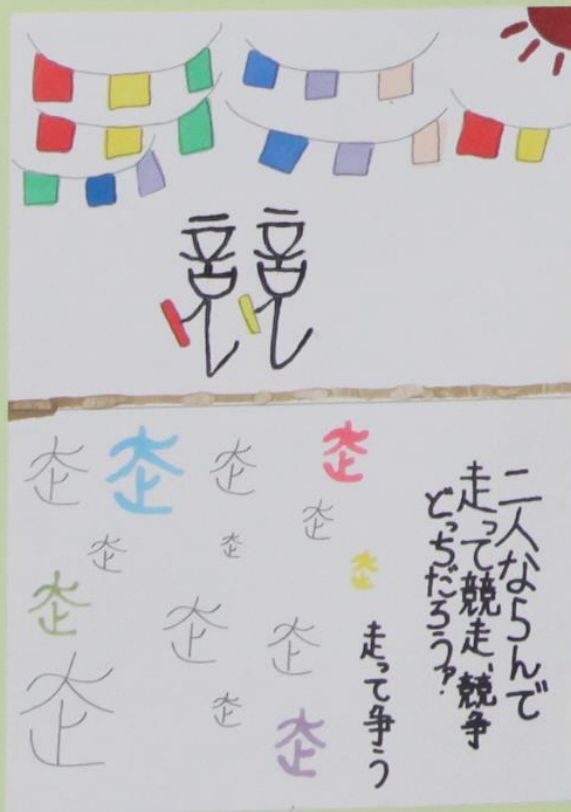


栗



お気に入り、くりの文字をまわりにち、ち、く書いたことです。

競



工夫した所は、競の古文字にパトンを持たせた所です。

祭



工夫した所は、ちゅうぶんの中に祭りという今の漢字を入れたことです。

<右下>



氷



氷の文字を雪みたいにふらせた所がお気に入りです。

登



工夫した所は、ふじさんに登の字を入れたことです。

愛



お気に入り、愛のあいの心をすみて書いたことです。

【作品解説】

去年の夏休みに参加した「もじもじクラブ」の漢字教室がきっかけで、漢字のことをもっと知りたくなりました。「もじもじクラブ」は漢字が好きな大人の人たちの集まりで、子どもは私一人だけでした。初めはきんちょうしたけれど、だんだんなれて自分の意見を言えるようになりました。そして、そこで、先生から古代文字のカレンダーをいただき、自分でも作ってみようと思いました。

工夫したところは、3つあります。

一つ目は、遠くから見ても文字が分かるようにハッキリ書きました。

二つ目は、元気が出るような色をたくさん使ったところ です。

三つ目は、今の漢字と昔の漢字に絵をつけて、ちがいをわかりやすくしました。

それぞれの月にあった古代文字を探して、その文字に合った色をチョイスすることが一番楽しかったです。

白川静博士の『漢字の世界へ』の本で調べたり、白川フォントも使えるようになったりしました。これからも「もじもじクラブ」を続けたいです。